

デジタルプラネタリウム「Shira Universe」について

合同会社アルタイル



Shira Universe (シラ・ユニバース) は、国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクトで開発している「Mitaka (ミタカ)」をスペースエンジンとし、Mitaka の宇宙表現をそのままに、プラネタリウム投影における操作性の向上と、様々な機能を盛り込んだ宇宙シミュレーションソフトです。モバイルはもちろん、大型のプラネタリウム施設においても採用されています。

ベンダー発表では、このソフトの機能・操作についてご紹介します。

このソフトの詳細は <http://planetarium.to/shiraseries/> をご覧ください。

大平技研の動向

有限会社大平技研 大平貴之

弊社の活動の最近の動向についてご紹介します。

ひとつは、さる3月に発売開始しました民生向けの小型恒星投影機「MEGASTAR-CLASS (メガスター・クラス)」について。そのコンセプトと機能、販売状況等についてご紹介します。

また、弊社の主力事業のひとつであるイベント事業について。最近の特筆すべきものをいくつかご紹介します。

新たな新開発品として、ドーム環境照明用の新型照明装置をご紹介します。在来のLED照明は、鮮やかな色再現や低消費電力といった優れた特長があり、プラネタリウムやドーム施設向けに多用されていますが、低照度での光量変化のスムーズさに欠ける欠点がありました。当社が開発した照明装置は、新開発の制御技術を用いてきわめて低照度まで調光可能なものです。

コニカミノルタプラネタリウムの取り組み2015-2016

コニカミノルタプラネタリウム株式会社 営業部国内営業グループ 藤掛曜平

当社は、お客様の想いをカタチにすべく、近年、様々な取り組みを進めて参りました。その一つが、長年ご愛用いただき、愛着を持っていただいている光学式プラネタリウムのリノベーション。単にオーバーホールをして機能を維持する延命処置ではなく、愛着のある外観はそのままに中身を最新のテクノロジーで一新し、全く新しい付加価値が加わったプラネタリウムとして生まれ変わります。今回は、広島市様と黒部市様で実施した世界初、究極のリノベーション事例をご紹介します。

二つ目が、当社の長年の技術の結集・お客様の想いの総和をコンセプトとし、開発を進めてきたΣプロジェクトです。光学式のインフィニウムΣは、昨年12月にリニューアルした当社直営館“満天”に導入しました。デジタル式のメディアグローブΣも玉川学園様はじめ、続々と納入が進んでいます。その納入事例と、インフィニウムΣに続く新開発の光学式プラネタリウムの紹介をいたします。



ステラドームの導入効果

(株) アストローツ 豊田哲也

プラネタリウムは、もともと星の運行を学ぶために生まれた機材。美しい星空を追及することはもちろんですが、「まなぶこと」はその本分の一つです。そして、ドーム全面を自由自在に使うことのできるデジタルプラネタリウムは、プラネタリウムの正常進化形ともいえる存在です。

この発表では、デジタルプラネタリウムの概要（おさらい）、発展著しいコンピュータや投影機器の現状、光学式投影機との棲み分けと連携、ステラドームの特長や最新機能、導入事例、導入された施設でどのように活用されているかなどをご紹介します。



GOTO NOW 2016

株式会社 五藤光学研究所 冠木レオ

弊社ではこの1年、ハイブリッド・プラネタリウムの最新機種として小型ドーム対応の「パンドラⅡ」、大型ドーム対応の「ケイロンⅢ」に加え、4Kプロジェクタを8台使用し、日本で初めてリアル8Kのデジタル映像を楽しむことが出来るドームシアターなど、ニーズに応えた施設を手掛けてまいりました。これら全ての施設で弊社が独自に開発した全天周デジタル映像システム「VIRTUARIUM X」を採用しています。これまで、そしてこれからの取り組みについてご紹介いたします。



パンドラⅡハイブリッド
VIRTUARIUM X 2.5K
15m 傾斜 / 126 席
2015年7月25日
リニューアルオープン

河北町交流センター/山形県



2016年4月14日
リニューアルオープン

ケイロンⅢハイブリッド
VIRTUARIUM X 4K
18m 水平 / 200 席

札幌市青少年科学館



VIRTUARIUM X 8K
17m 水平 / 160 席

2016年4月28日
オープン

セーレンプラネット
(福井市自然史博物館分館)



「HORIZON」

有限会社 ライブ 上坂浩光

現在製作中の新作フルドーム映像作品「HORIZON」の詳細をご紹介します。企画意図、テーマなど、現在完成しているシナリオや、CG映像を交えてお話しします。この作品には、宇宙論を形作った多くの科学者が実写で登場し、CGの背景に合成されます。これは、弊社制作の「Eternal Return」や「MUSICA」と同様の手法ですが、一番大掛かりで複雑なものとなる予定です。

尚、ドーム映像出展枠でもティザー映像が上映されます。是非合わせてご覧ください。

監督：上坂浩光 音楽：酒井義久

監修：小松英一郎

制作：ライブ 配給：五藤光学研究所

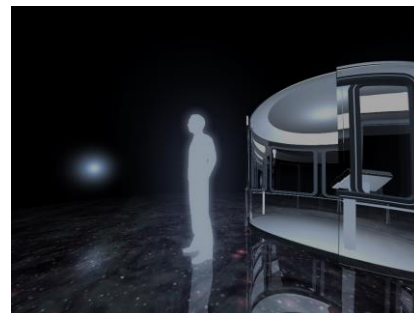


スターライトスタジオの取り組みについての紹介

合同会社スターライトスタジオ 三谷真佐幸

当スタジオは、科学の面白さを伝えることに重きを置いたドーム映像・番組の制作を続けてきました。大まかな取り組みは次の通りです。

- ・オリジナル科学番組の制作
- ・オリジナル・ショートピース（SP）の制作
- ・番組、映像、シナリオなどを委託制作あるいは共同制作
- ・海外番組の日本語版制作
- ・上記の番組、映像素材の配給・提供
- ・番組上映・運営に付随する業務のサポート



昨年度の活動の中から一部を紹介します。

また、制作進行中の番組についても最新情報をお伝えします。



短編フルドーム番組「ほしみるおじさん」「残像花」のご紹介

Astrolab

短編フルドーム番組「ほしみるおじさん みぢかなうちゅうのおはなし」と「残像花 The Flower of Afterimage」のご紹介です。番組の裏話や制作秘話なども併せてお話しします。

「ほしみるおじさん みぢかなうちゅうのおはなし」(12分)は同名の絵本を原作とした子ども向け番組です。優しい絵本の世界を通して私たちの暮らす宇宙を知ることができます。

「残像花 The Flower of Afterimage」(10分)は、2015年ドイツのJena Fulldome FestivalでBLAUE BLUME Awardを受賞した、音楽と映像による短編番組。視覚と聴覚で幻想的な世界を体験する、繊細で美しいアート作品です。



全天周 4 Kリアルタイムオーロラの撮影への挑戦

Metaspace Soonchang Park

(この行には記入しないでください)

フルドーム番組「オーロラ・生命の輝き」の全天周オーロラ動画を撮影した、韓国の天体写真家 **Kwon O Chul** 氏の、オーロラ撮影にかける想いと彼が取り組んだ技術についてお話します。オーロラに魅せられた彼はダイナミックで広大なオーロラが与える強い印象を伝えるには、高感度かつ高解像度で動画として収めるしかないと考えました。オーロラ撮影のために **Kwon** 氏が開発した特殊なカメラについてご紹介するとともに、オーロラが活発な撮影に適した時期にじっくりと撮影することができた彼のフィールドワークについてもお話します。



物作りを通して、子供たちに星空体験を！

オルビス株式会社 花岡 賢治

天体望遠鏡工作キット コルキットスピカを使った、
大阪市立科学館 友の会主催の夏休みイベント
望遠鏡工作教室の様子をご紹介します。



天体望遠鏡工作キット「コルキット スピカ」
小学校4年生の星空教室から大学生・教員研修などにも
ご利用頂いている望遠鏡の工作キットです。
工作時間：親子二人で作る場合は40分程度ですが
団体で作る場合は1時間程度です。（3個から割引あり）

<お問い合わせ>

オルビス株式会社 望遠鏡担当まで
〒542-0066 大阪府中央区瓦屋町 2-16-12

TEL 06-6762-1538 FAX 06-6761-8691 e-mail info@orbys.co.jp



さらい デジタルドーム映像新番組のご紹介

株式会社さらい

株式会社さらいが配給するデジタルドーム映像から2作品ご紹介いたします。

■ 「小惑星～究極のミッション～」(約26分) *番組冒頭映像紹介

制作：ナショナルジオグラフィック、スカイスキャン

「この宇宙飛行士は、あなた・・・。」漆黒の宇宙をドームで体験し、太陽系横断の有人宇宙旅行実現に向け、遙かな世界への第一歩を踏み出す！小惑星が果たす役割、可能性を探る宇宙への旅へ誘います。

■ 「感動体感！これが宇宙ロケットの打ち上げだ！」(約25分) *予告編紹介

制作：NEXT EP、JVCケンウッド・ビデオテック

H-II Aロケットの打ち上げを高画質の4K映像で紹介し、アトラクションのように「体験型」を強く打ち出した内容として展開。

やまちゃん博士こと、山寺宏一さんの楽しいナビゲートで楽しみながら宇宙の星の知識を得られる映像ショーです。



エクスプローラーズジャパン 2016 年新作番組のご紹介

エクスプローラーズ・ジャパン株式会社 川村総一

2016年の新作を中心に、当社で制作・配給しているプラネタリウム番組や行っている取り組みについてご紹介します。

